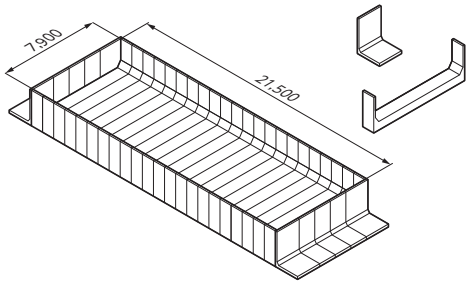
現場打プレキャスト化・残存型枠事例集

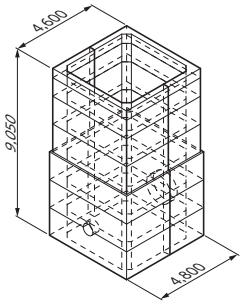
沈砂池

産業廃棄物処理場造成に伴う沈砂池(21.5m×8.2m×1.4m)
現場打ちとの比較検討を行い、2次製品にて納入。



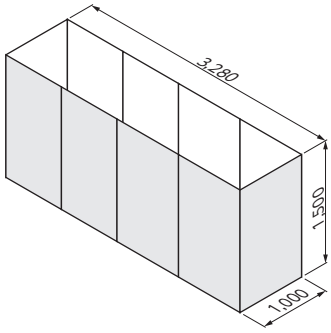
大型ボックス桝

セグメントボックスによる大型桝状構造物のプレキャスト化
現場での施工期間は2日程度(基礎コンクリートの施工は含まず)。
現場打ち鉄筋コンクリート造と比較し大幅に短縮。
縦横にPC鋼棒による縦締めを行うことで分割式でありながら一体化・水密性の向上が図られる。



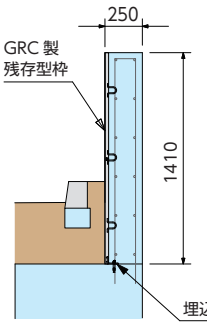
大型標識用基礎(KCスタンドフォーム)

高規格道路の大型標識基礎の埋設型枠として「KCスタンドフォーム」を使用。
採用理由
・脱枠不要→作業スペース確保のための床掘りが小さく出来る。
・工事範囲及び通行止め範囲を最小限に抑える事が可能。

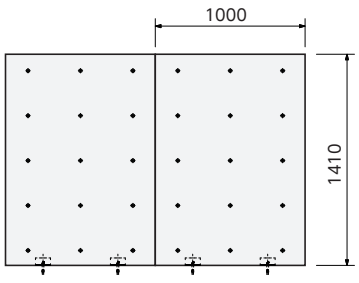


GRC製壁高欄用残存型枠

■断面図



■正面図



2分割ボックスカルバート　7800×2200(モルタル充填式鉄筋継手)

歩道拡幅工事にて現場打ちからプレキャスト化へ提案
国道沿いでありレベル2地震動対応。
上下の連結はモルタル充填式鉄筋継手を使用しています。

▲製品据付後

▲モルタル充填状況

▲製品据付前

▲モルタル充填後

落差工

　落差工のプレキャスト提案事例。呑口・吐口の高低差が大きくても緩勾配を維持しながら水路を築造できます。
　製品の接続は、止水性・一体性を兼ねてボルト連結とし、土留め版を併用して施工します。

土留め版

　製品端部部分もプレキャストで提案可能です。異形形状や穴開口付土留め版をはじめ、様々なサイズへ対応可能ですので、最寄りの営業所へお問合せ下さい。